



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立 1964年3月2日 例会日 毎金曜日12時30分 例会場 オークラ千葉ホテル
会長 鈴木 美津江 幹事 杉本 峰康 会報委員長 村田 紀之

《事務局》 〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)

2013年5月第2週号

第2403回



平成25年5月17日(金) 点鐘12:30(晴れ)

ロータリーソング『我等の生業』
四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー／国際ロータリー第2790地区 第3分区Bガバナー補佐 田仲 正道様
- 新千葉RC／大原 保人様
- ロータリー米山奨学生／トゥルムハドゥール・ウーレンさん

■会長挨拶及び報告 鈴木 美津江会長

皆様、こんにちは。田中ガバナー補佐、大原様、ウーレンさん、ようこそお出で下さいました。田中ガバナー補佐におかれましては、今日は群馬からお越し頂き、終わりましたら埼玉にいらっしゃるとのこと、本当に有難うございます。

今年度の方針で、世界平和フォーラムについて勉強するというので、今日は田中ガバナー補佐に卓話をお願いしております。本日は、広島で日本平和フォーラムが開催されております。

大原さん、今日は有難うございます。6月21日の例会で、ピアノ演奏をお願いしております。宜しくお願い致します。

■ご挨拶

新千葉RC・大原 保人様より



こんにちは。お世話になります。私たちは、ヨーロッパなどで仕事をすることが多く、今年はベルリンをかわきりにスペインを一周して、ドイツの依頼により、ローマのドイツ大使館で仕事をして帰ってきました。ボランティアも多々あるので

すが、とても楽しくやっております。世界中のジャズマンとやってきて、お国柄、文化等全部違います。そのようなことで、ロータリー・ジャズミーティングと題して日本中に広げられたら良いなと思っております。そして、少しずつですが、楽しみながら世の中に還元出来ればと思っております。

■委員会報告

会員増強委員会 (北原 俊彦次年度委員長)

50周年を50名で迎えよう！という大きな目標がございます。来年度になってからでは遅い！ということで、20日にプログラム委員会と親睦活動委員会の方にも来ていただいて、今後の増強活動について話し合いを行いたいと思っております。

全会員が挙って会員増強を行うという方針に従ってやっていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

■幹事報告 杉本 峰康幹事

- 24日は、職場訪問例会です。(千葉火力発電所を訪問)

千葉駅 11:15 蘇我駅 11:30

- 24日、18:30よりオリエンテーションが開催されます。

- 28日(火)は、31日を変更して市原中央RC訪問例会です。千葉駅 17:15 蘇我駅 17:30

■ニコニコボックス報告

★田仲 正道様

本日は楽しみにやってまいりました。稚拙な卓話、ご清聴有難うございました。

★大原 保人様

本日はお世話になります。

★鈴木 美津江会長、杉本 峰康幹事

- 第3分区Bガバナー補佐・田中正道様、ようこそお越し下さいました。本日の卓話、宜しくお願い致します。

- 新千葉RC・大原保人様、ようこそお出で下さいました。今後、色々とお世話になることと思いますが、その節は宜しくお願い致します。

- ウーレンさん、いらっしゃいませ。ゆっくりと寛いで下さい。

★出井 清会員(クラブ研修委員長)

田中ガバナー補佐、本日の卓話有難うございます。先日のガバナー月信に掲載されていましたが、「お散歩」の話も入れてお話しただければ幸いです。

宜しくお願い致します。

本日のニコニコボックス	8,000円	累計	694,000円
金の箱	210円	累計	12,643円

■出席報告（会員数44名）

出席者数31	欠席者数13	ビジター 3	修正出席率 次回にて
--------	--------	--------	------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [トップ](#) [にご利用下さい](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	6/25	センシテイター「東天紅」
千葉幕張RC	火	6/11・6/25	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	6/12・6/26	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	6/26	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	6/27	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	6/27	京成ホテルミラマーレ

……本日の卓話……

演 題⇒『ロータリー世界平和フォーラムについて』

卓話者⇒ 国際ロータリー第2790地区第3分区B
ガバナー補佐 田仲 正道様



千葉南ロータリークラブの皆様、
こんにちは！

日頃は鈴木会長、杉本幹事を
初めとし、会員の皆様には大変お
世話になっています。

早いもので私が第3分区Bのガ
バナー補佐に就任し、皆様に御協力いただくようになって10カ月が過ぎました。

私の任期もあと一か月半です。本当にお世話になりました。

私は今日の貴クラブへの訪問を大変楽しみにしておりました。宜しくお願ひ致します。また、28日の合同夜例会は楽しいひと時を過ごしたいと思ひます。

鈴木会長とは同期の幹事で56会という会でお付き合いさせていただいております。杉本幹事とは毎月の分区の合同幹事会で大変お世話になっております。また、小野口会員がお戻りになられたことは、大変喜ばしく思っております。出井会員とは、出井さんが幹事の時、私は市原中央RCの副幹事でした。出井さんの方が先輩と思っておりますが、最近、出井さんの高校の同級生の千葉東RCの宍倉パスト会長と私が大学の同級生ということが解りました。

その出井さんからご連絡をいただき本日、ロータリー世界平和フォーラムについての卓話をさせていただくことになりました。

こちらのクラブでは、得居ガバナーの希望通りの研修を取り入れていただき「ロータリーを知る会」を開いていただいております。ありがとうございます。

斉藤パストガバナー、海寶職業奉仕委員長の格調高い卓話をHPで拝見しました。今日はお二人の後の卓話

ということで大変なプレッシャーを感じています。

RI会長賞エントリー、会員増強指針活動エントリーご苦勞様でした。第2790地区では前者が貴クラブのみ、後者が成田コスモポリタンRCと2クラブのみです。積極的なロータリーへの取組姿勢に感服いたしております。

今日は、ロータリー世界平和フォーラムについての話し、その後私のロータリーについての軌跡をお話しさせていただきます。

ご存知のように本年度の国際ロータリーのテーマは「奉仕を通じて平和を」です。このテーマの下ロータリアンと地域のリーダーの平和への関心を高めることを目的として、「2012～13年度ロータリー世界平和フォーラム」が世界3か所で行われました。

ベルリン・ホノルル・広島という3つの開催地は、第二次大戦で大きな被害を受けた都市であることから田中作次RI会長によって選ばれました。この3都市は、今では平和推進を象徴する都市になっています。

2012年11月30日～12月2日のベルリンでは、「**国境のない平和**」をテーマとし平和を築き、国際理解と協力において人々が相互にかかわり合う機会を推進する上での、民主主義の役割を考察し、国家間の理解を促進する上での**国際共同委員会**の功績と役割を紹介しました。ベルリンでの世界平和フォーラムには各国から1,800名の参加者がありました。ここでは「平和宣言」が発表されました。

平和宣言「国境のない平和」

「人は誰でも、暴力や迫害、不平等や不条理に苦しむことなく、平和に暮らす権利を持っています。私たちはここに、ロータリー活動の下に団結したリーダーそして同胞として、より平和な世界の構築に全力を尽くす決意を宣言します。国境や政治的見解の違いによって人々が袂を分かち、相反関係や争いが起きている現実を認識する一方、私たちは親善使節として、母国に誇りを持ちつつ、国の利益という枠組みを超えて考えることを重要視します。この精神と共に、私たちは「国境のない平和」という概念を受け入れます。

平和を実現するには、寛容の心が必要とされます。だからこそ私たちは、互いの違いを受け入れようと務め、各個人が、政治的、宗教的、文化的、社会的見解や行為を、自由に表現、発信できる権利を尊重します。また、異なる観点と信念を有する人々の平等を守るために、民主主義と民主的統治の原則を擁護します。さまざまな異なる国の市民である私たちは、法による正義と公平があればこそ平和な社会が確立し得ると認識し、個人の権利が尊重され、また守られるよう、各国のリーダーが責任を果たすことが重要であると考えます。

私たちには、奉仕を實踐して平和な世界を築くという希望があります。人々に奉仕し、支援の手を差し伸べることによって、共感と理解を生み、末永く続く友情を培い、平和構築を目指す人々の力になることが出来ます。ロータリーを通じて、どのように平和構築に貢献できるかを考えてみましょう。

※2回の世界大戦により分裂された国際関係を修復するために、ロータリーは、国と国とが協力して人道的活動や平和活動に取り組めるようにする為の国際共同委員会を立ち上げました。今日、世界には250の国際共同委員会があり、それぞれが国際理解、親善、平和の構築に寄与しています。

※ロータリーの平和フェロシップを通じて、これまでに700人のロータリー平和フェローが、平和と紛争解決の分野のキャリアで活躍するための土台となる、修士号または専門課程修了証を取得しました。

※25年前に125カ国で猛威を振っていたポリオは、現在、ロータリーとそのパートナー団体の地道な努力により撲滅に近づいています。この進展によって、身体麻痺を引き起こすポリオの感染から推定500万人の子どもが守られたことになります。この世界最大規模の保健活動は、多くの人々と政府や民間団体が力を合わせれば、驚くべき偉業が達成できることを物語っています。

全員でビジョンを共有し、共に行動を起こしてまいりましょう。

※戦争による解決ではなく、平和的解決に力を注ぐことを、各国のリーダーに呼びかけてください。

※敵対概念を捨て、対立状況が頻繁に発生する国の人々と積極的に交友関係を築きましょう。

※民族性や宗教の違いから地域社会で疎外されている人々に手を差し伸べ、新たな友好関係や協力関係を築いてください。

※政治不安や法律の欠如といった問題を抱えた地域では紛争が発生しやすいため、そのような地域の人々が自らの力で地域を改善していけるよう支援しましょう。

※変化を起こすための人脈を築きましょう。世界には、200を超える国や地域に34,000のロータリークラブがあり、各クラブがそれぞれの地域社会で活動しています。「奉仕を通じて平和を」推進するために、ロータリーでの活動にご参加ください。

平和はある時点で達成されるものではなく、継続的な活動を通じて少しずつ形づくられるものです。私たち一人ひとりが、平和は可能であると意思表明し、行動することを通じて、平和構築者となることができます。」

2013年1月25日～27日にはホノルルで「平和にいたる緑の道」をテーマとし開催されました。

平和の前提条件として、人類が共有する環境資源の保存と保護、および自然災害の影響の緩和の重要性に焦点を当て、かつ新世代を中心に若者たちによる平和のビジョンを育んでいくことに焦点を当てました。

アウン・サン・スーチンさんの基調講演が行われたとのこと。その中で「私たちが欲する平和とは、恒久的な平和です。若い人たちに平和な国家構築の仕事を担ってもらえるように支援する必要があります。前に進むためには、若い人たちの力が不可欠です。」と述べられました。

た。

そして、ホノルルでも平和宣言がなされました。

平和宣言「平和にいたる緑の道」

「人は誰でも、暴力や迫害、不平等や不条理に苦しむことなく、平和に暮らす権利を持っています。私たちはここに、ロータリー活動の下に団結したリーダーや同胞として、より平和な世界の構築に全力を尽くす決意を宣言します。

私たちは、共有する環境資源を大切にし、ロータリー・ファミリーに対して、グローバルな観点をもって平和の推進者たることを、身をもって示すように奨励します。資源を保護し、地球を守ることで、「平和にいたる緑の道」を支えます。

平和な未来を築くには、平和構築プロセスに若者の力を組み込むことが不可欠です。各世代が生きる社会は、その前の世代よりも、更にグローバル化し、人と人とのつながり、多様性あふれた社会となります。グローバル市民としての若者の自覚は、ますます高まっています。若者は、文化、民族性、宗教の違いを受け入れ、正義と公平さの熱心な唱導者となります。小さくなりゆく今日の世界で、若者の声と平和への呼びかけは、テクノロジーとソーシャルメディアの波に乗り、ますます大きく、力強いものとなるでしょう。

明日の平和は、今日の行動によって形づくられます。若者の創造性、エネルギー、理想の追求を後押しし、変化をもたらす力を助長することによって、平和な未来の種を育てることが出来ます。今日のリーダーは、戦争よりも平和に、憎しみよりも友情に、争いよりも譲り合いに身を捧げることにより、これらの価値観を明日のリーダーとなる若者に引き継いでいかなければなりません。

一つの世代が次の世代に意欲と支援を与えれば、平和の種は「平和にいたる緑の道」へと変わり、その道は先へ先へと伸び続けて行くでしょう。

私たちに、奉仕を実践して平和な世界を築くという希望があります。人々に奉仕し、支援の手を差し伸べることによって、共感と理解を生み、末永く続く友情を培い、平和構築を目指す人々の力になることができます。ロータリーを通じて、どのように平和構築に貢献できるか考えてみましょう。

※世界には、12歳から18歳までの青少年からなる14,000のインターアクトクラブがあります。また、18歳から30歳までの若者からなるローター・アクトクラブの数は9,000に上り、リーダーシップのスキルを養い、地域社会に奉仕し、国際的な理解と親善を促進しています。

※75年以上にわたり、多くの学生とホストファミリーが、ロータリー青少年交換を通じて視野を広げてきました。毎年80カ国出身の8,000人以上の学生が、短期あるいは長期の交換を通じて文化間のつながりを築き、国際理解を促進しています。

※ロータリー財団の平和センターを通じて、これまでに700人以上のロータリー平和フェローが、平和と紛争

解決の分野のキャリアで活躍する為の土台となる、修士号または専門課程修了証を取得しました。

全員でビジョンを共有し、共に行動を起こしてまいります。

- ※ロータリーの6つの分野に関連する奉仕プロジェクトを通じて、「平和にいたる緑の道」を見出して下さい。
- ※行動を起こしましょう。自らの声と意思を表明することで、武力ではなく平和的な紛争解決の道を選ぶよう、議員や政治リーダーに訴えて下さい。
- ※ソーシャルメディアを駆使し、国、文化、宗教の違いを乗り越えて、平和への願いを共有する人々に協力を働きかけてください。
- ※若者が持つリーダーシップの可能性を広げ、地域社会に積極的に関与できるチャンスを与えてください。
- ※集団暴力やいじめなど、日々の生活における対立に共通する原因に若者が対処できるよう、対話の機会を設け、対処方法のアドバイスをしてください。
- ※変化を起こすための人脈を築きましょう。世界には、200を超える国や地域に34,000のロータリークラブがあり、各クラブがそれぞれの地域社会で活動しています。「奉仕を通じて平和を」推進するために、ロータリーでの活動にご参加ください。

平和は、ある時点で達成されるものではなく、継続的な活動を通じて少しずつ形づくられるものです。私たち一人ひとりが、平和は可能であると思ひ、行動することを通じて、平和構築者となることができます。」

そして今日、5月17日～明日18日まで広島で「**平和はあなたから始まる**」をテーマに開催されています。私たち一人ひとりが日々の生活や地域社会での活動で平和を推進する方法を考察します。未来志向のこの会議では、一人ひとりが今後(何日、また何年にわたり)どう貢献していけるかを、参加者に問いかけています。

既に過ぎてしまいましたが、田中作次RI会長は2月23日、世界理解と平和の日(初のロータリークラブの会合の日)に合わせて次の活動を計画することを要請しました。

- ① クラブや地区の平和フォーラムを開催する。
- ② 地域平和フォーラムを開催する。
- ③ 国際双子クラブによる協力関係を結ぶ。
- ④ ロータリー平和フェローを推薦する。
- ⑤ 戦争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する。

田中作次RI会長は、「平和という概念は、人によって、文化によって異なります。心の平安や家族の幸せ、満足感を指す場合もあるでしょうし、人間の基本的ニーズが満たされた安全な状態を指すこともあるでしょう。平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成出来る目標です。平和がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることを御理解下さい。平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるもの

であります。」と述べています。

積極的平和論では【戦争のない状態をふつうは「平和」と言います。ただ最近では単に戦争のない状態だけでなく、「たとえ戦争がなくても人間社会に貧困、不正、差別、抑圧などの状態が存在する限り、それは“平和ならざる状態(平和の喪失)と捉えるべき】と考えています。

私が平和について考えている時、印象に残る作文がありました。岩手県・宮古市の小学生の作文です。

「私は戦争がなくても平和とは言えないと思います。いじめなどがあっては、平和と言えないと思いました。戦争や争いがなく、一人一人が幸せだと思ひ、平和だと思ひます。平和になるには、すごく難しいことだと思ひます。国語の「平和のとりでを築く」のように平和の心を一人一人が持たなきゃいけないと思ひました。そのために、私たちができることをして、一人一人平和だと思ひたいと思ひました。」

この小学生のいう、私たちができることというのは我々ロータリアンにとっての奉仕だと思ひます。

岩波新書の「いま平和とは」という本で、最上敏樹さんが「若い皆さんへ(心のありようが若い方も含めて)平和について考え続けるときに、すべての理想をいますぐに実現せよと求められているのだとは考えないで下さい。歴史を見ても、少しずつ成果を積み重ねていくほかないのが現実なのです。私たち年長の者ができなかったことを、すべて皆さんの責任にして残していったりはできません。せめて、前の世代から受け継いだ世界より悪い世界を皆さんに残さぬようにはしたい。だから、もし私たちにそれができたなら、どうかそれを少しでもよくなるようにしていただきたい、と願うのです。」と書かれています。

ロータリー世界平和フォーラムの話は、ここまでになります。

私は、18年前の1995年(平成7年)の5月16日に市原中央RCに入会いたしました。私がロータリークラブの存在を知ったのは、大学を卒業し某銀行に就職した後のことです。

毎週、同じ曜日に支店長が例会場に出かけて行きました。時々、例会場に送って行くことがありました。好奇心が強い私は車を駐車場に置くと、例会場の中をのぞいてみました。すると、有力なお客様が大量出席されていて、タスキをかけた方が何名もおられました。

支店長にロータリークラブとはどんな団体ですか?と尋ねると「奉仕をする団体だよ」との答えでした。それから暫らくの間はロータリーを忘れていましたが、銀行を辞めて今の仕事を始めて数年たった平成7年、1995年に当社のお客様に「社長、毎週火曜日の昼飯を一緒に食べないか?」

とロータリーに誘われました。

その頃、ロータリーのことは何も解らず、金と暇のある人たちの仲良しクラブ程度の認識しかありませんでした。唯、出来るだけ例会に出席するように!自クラブの例会に出られない時はメイクアップを下さい。」ということだけは指示されました。

入会してみると、それぞれ仕事の上で成功なさっておられる方々と話が出来るのが楽しかったと思います。しかし入会后2年経過した1997～98年にかけて1年以上の長期欠席をしてしまいました。3～4回続けて欠席し、出席しにくくなったのです。

再び出席するようになったきっかけは、クラブが市の清掃ボランティアに参加した際に思い切って出かけて行きました。清掃をして皆で昼食をとりました。参加していた会員の皆さんは「久しぶりだね、元気だった？」といった感じで温かく迎えてくれました。その後はできるだけ出席するように心がけました。

しかし、積極的にロータリーを学びませんでした。四大奉仕とは何かも知りませんでした。その年度のRIのテーマも知りませんでした。

職業奉仕の「職業を通じて奉仕を」を困っている方に無報酬で商品、労務を提供するものと思っていた時期もあります。そんな風に理解していたロータリアンは私だけかと思っていました。しかし、そうではありませんでした。

「ロータリーの心と原点」という本を読ませていただきましたところ、著者の第2700地区パストガバナーの廣畑富雄氏も「職業を通じた奉仕活動なのだから、たとえば弁護士さんが、無料の法律相談をやる。あるいはお医者さんが、無医村に出かけて行って、無料で診察する、そういうのが職業奉仕かと思っていました。しかしロータリーの本を読むと、そういうのは立派な行為だけれども、職業奉仕ではなくて、むしろ社会奉仕だと書いてあります」と書いておられました。廣畑さんでさえ当初はそう思っていたらっしゃったと知り、私だけが劣等生ではないんだと思いました。

2008年に会長ノミニーになってから少しずつ勉強するようになりました。会長在任中は毎週の例会で職業奉仕を中心にロータリーの話をするようになりました。

その時、気付きましたが毎週の例会、地区大会、IM等の行事への出席により、知らず知らずのうちにロータリー精神を学んでいたのかも知れません。

ポール・ハリスは「My Road to Rotary」の中で「ロータリーとは何か」を自問自答しています。

「ロータリーとは何か、何千人のロータリアンに聞けば、何千通りの答が返ってくるであろう。

しかし、もしロータリーが、より寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり、助け合うようにしてくれるなら、そして、人生の美しさと喜びを発散し伝えるようにしてくれるなら、それが我々が求めるロータリーのすべてである。それ以上ロータリーに何を求めることがあるのか。」これが「奉仕を通じて平和を」に繋がるのではないのでしょうか。

そして、「ロータリークラブは知人ではなく友人の集まりである」ということを実感してください。

ロータリーが皆様の人生にとって有意義なものになることをお祈り申し上げます。

冗話にもかかわらず、ご清聴いただき感謝申し上げます。

※参考

【国際共同委員会(ICC)】

国家間の親善と平和に向けたロータリーの数多くの取り組みの1つです。ICCは、ロータリーが活動する二つの国の複数地区のロータリアンが、国と国のレベルで互いにネットワークを築くものであると考えることが出来ます。始まりは1931年にフランスとドイツのロータリアンたちが「プチ・コミテ」を組織しました。

これは、この二つの隣国の人々の間により良き関係を助長するという目標をもった小さなグループです。この時以来ヨーロッパのロータリアン達は、国境を越えたロータリアンとロータリークラブの間の交流を鼓舞するため国際共同委員会をつくる道を取ってきました。

馴染みの深いICCのプロジェクトとしては「ロータリー青少年交換」があります。

【6つの重点分野】

- ・平和と紛争予防／紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基礎的教育と識字率の向上
- ・経済と地域社会の発展

【国際双子クラブ】

国際理解と親善を推進し、協力して奉仕プロジェクトに取り組むために、海外のクラブと長期的な関係を築くものです。双方のクラブは、プロジェクト展示会、クラブの奉仕プロジェクト、ロータリー青少年交換、RYLA 行事、ロータリー友情交換などを通じて協力し、友情を育んでいます。

【ポリオ撲滅プログラム 共同プロジェクト 4つの機構】

- ① WHO
- ② ロータリー
- ③ 国のCDC(アメリカ疾病予防管理センター)
- ④ UNICEF

(文 田仲 正道様)

第2404回例会

《職場訪問例会》

日時⇒ 平成25年5月24日(金) 点鐘12:00

場所⇒ 東京電力(株)千葉火力発電所

第2405回例会

《市原中央RC訪問例会》

日時⇒ 平成25年5月28日(火) 点鐘18:30

会場⇒ 五井・久松本店
